

中学生の質問箱

天皇制って なんだろう？



あなたと考えたい
民主主義からみた
天皇制

出版記念シンポジウム 宇都宮健児さん×望月衣塑子さん

崇拜でも、反対でも、タブーでもなく
普段着の言葉で天皇制を語ろう

2019年4月24日(水)

18:00開場 18:30開会

会場:牛込筆筈区民ホール(地図はウラ面に)

資料代:1000円(高校生以下無料)



望月衣塑子

1975年生まれ。東京新聞記者。
社会部でモリカケ疑惑、セクハラ問題、武器輸出、軍学共同等を取材。記者会見での鋭い追及に官邸からマークされている。
著書に『武器輸出と日本企業』(角川新書)、四半世紀を綴った『新聞記者』(角川新書)、『追及力』(光文社)、『独裁者』(KKベストセラーズ)、『新聞と権力の大問題』(集英社)。



宇都宮健児

1946年生まれ。弁護士。
地下鉄サリン事件被害対策弁護団団長、年越し派遣村名誉村長、日本弁護士連合会会長などを歴任。2012年と2014年の東京都知事選挙に出馬。現在、希望のまち東京をつくる会代表などを務める。
著書に『希望社会の実現』(花伝社)、『自己責任論の嘘』(KKベストセラーズ)ほか多数。

主催:『天皇制ってなんだろう?』出版記念シンポジウム実行委員会

共催:ねりま親育ちの会

問い合わせ:070-5576-7955(市川)

予約優先:予約は chugakushitumon@gmail.com / 070-5576-7955まで

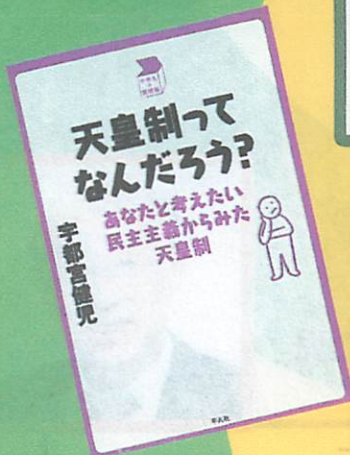
私たちの暮らしと深く結びついている天皇制。なのに、「触れてはいけない気がする」「どうもよくわからない」などなど。なんかモヤモヤしていませんか？そこに「民主主義」と「法律」というモノサシをあててみると……。明治から現在までの天皇制を弁護士の宇都宮健児さんは明快に論じます。そして、視界が晴れたその先に見据えるのは民主主義社会の作り方、私たちが「自分の暮らしの主人公」になる方法です。

この度、今、日本でもっとも民主主義を実践しているジャーナリストの一人、望月衣塑子さんを迎えて、シンポジウム開催のはこびとなりました。これまでの天皇制について、これからのもっとよい天皇制のあり方について、そして、もっとよい国のあり方について、お二人と一緒に考えてみませんか。きっと、モヤモヤした視界が晴れて、どんよりしがちな気持ちに光が差すはずですよ。

天皇退位・新天皇即位を目前に考えたい

どうして日本に天皇制があるの？ 天皇制ってずっと同じじゃないの？
今の天皇制ってどうなってるの？ 私と天皇制ってどんな関係？
未来のために考えるべきことって？

天皇制を考えていくと日本社会が見えてきます。
そして、ドイツの戦後の歩み、スウェーデンの主権者教育、韓国の市民運動などを参照すると、見えてくるのは希望です。
そこで宇都宮さんが説く、大人でも子どもでもできる、社会が確実によくなる方法とは？



四六版 224ページ
定価：1400+税 平凡社

アクセス 住所：新宿区筆筈町15番地

地下鉄：都営地下鉄大江戸線「牛込神楽坂」A1出口より徒歩0分
東京メトロ東西線「神楽坂」2番出口より徒歩10分
都バス：飯62系統 小滝橋車庫前～都営飯田橋駅 または、
橋63系統 小滝橋車庫前～新橋駅「牛込北町」下車

